

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2021年度版)



SDGsセンターの開設セレモニー及びSDGs IDEA FORUM 2020 で最優秀賞を受賞した本学学生デザイン自動販売機の除幕式を開催！



<p>活動の概要</p>	<p>2021年5月14日、本学に開設した「名古屋市立大学SDGsセンター（NCU SDGs Center）」のオープニングセレモニーを山の畑キャンパス1号館にて開催しました。SDGsセンター長の薬学研究科 林教授の挨拶に続き、参列した名古屋市総務局の関嶋主幹、池田主幹よりお祝いの言葉が送られました。</p> <p>また、SDGsセンターの活動の第一弾として、本学人文社会学部の学生とコカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）とのコラボレーションにより、学生デザインのイラストをラッピングした自動販売機が同大学山の畑キャンパスに設置され、その除幕式も行われました。デザインは、大学生のアイデアで名古屋市の地域課題の解決を目指す「SDGs IDEA FORUM 2020」で最優秀賞を受賞した人文社会学部学生グループ「NCU Global Justice Project」が、海洋プラスチックゴミ問題の解決の一環として企画したものです。</p> <p>今後も本学では、行政、産業界、金融界などの各機関との連携を深めながら、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでまいります。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>2021年5月</p>



名古屋市立大学SDGsセンター 開設セレモニーの様子



自動販売機の除幕式の様子

SDGs IDEA FORUM 2021の開催について



<p>活動の概要</p>	<p>名古屋市立大学では、令和元年7月に「SDGs 未来都市」に選定された名古屋市と連携して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを進めています。2020年度に引き続き、2021年度においても、名古屋市と共催で、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2021」を開催します。</p> <p>【SDGs IDEA FORUM 2021における名古屋市の5つの地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■人々が健康に生きられるまちづくり (SDG3,SDG11,SDG16) ■名古屋の子どもたちにSDGsを広めよう (SDG4,SDG17,SDG11) ■名古屋から食品ロスを減らそう (SDG2,SDG4,SDG12) ■多文化が共生できるまちづくり (SDG3,SDG10,SDG11) ■名古屋を生物多様性先進都市に (SDG13,SDG14,SDG15)
<p>活動の時期</p>	<p>2021年8月～2022年2月</p>
<p>関連URL</p>	<p>SDGs IDEA FORUM 2021</p>



名古屋市の地域課題を、大学生のアイデアで解決する。

名古屋市は、2019年に「SDGs未来都市」に選定され、SDGs達成のために市民が一体となって地域の課題を解決していくことが求められています。そこで、名古屋市にキャンパスを置く大学・短期大学の大学生から柔軟かつ革新的な発想を募集し、地域課題の解決を目指すプロジェクトをスタートします。



SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を公開。 学生が主体となり解決に。 アイデアコンテストを。 優秀アイデアには経費無償で実現。 地域課題を公開。 向けのアイデアを募集。 開催。 実現。 実現。 実現。

2021年度は5つの地域課題を選定。



主催：SDGs IDEA FORUM 実行委員会（名古屋市・名古屋市立大学）
 後援：中日新聞社 名古屋銀行 朝日インテック

プラスチック容器の完全回収を目指して 東山動植物園 でデポジット制の社会実験を実施！



<p>活動の概要</p>	<p>2021年11月3日、本学の人文社会学部の学生団体「NCU Global Justice Project」が、ペットボトルの確実な回収を実現するため、東山動植物園でデポジット制の社会実験を行いました。</p> <p>この企画は、2021年2月に開催された名古屋市主催のSDGs IDEA FORUM 2020(※)において、「NCU Global Justice Project」が発表し最優秀賞を獲得したアイデアの一部を具体化したものです。東山動植物園内で20円のデポジットをペットボトル飲料に上乗せして購入し、飲み終わった後に各出口に設置された回収場所でペットボトルを返却すると20円が返金される仕組みです。</p> <p>当日の社会実験には、プラスチックごみの問題などに関心を持ってもらおうと、35人の学生などが参加しました。今回の結果は、論文などにまとめるほか、ペットボトル以外の様々なプラスチック容器の回収に向けた活動などにも応用していく予定です。</p>
<p>活動の時期</p>	<p>2021年11月</p>
<p>関連URL</p>	<p>当日の様子は、TV・新聞などのメディアでも報道されました。</p> <p>メーテレ NEWS 中日新聞WEB</p>



販売場所の様子

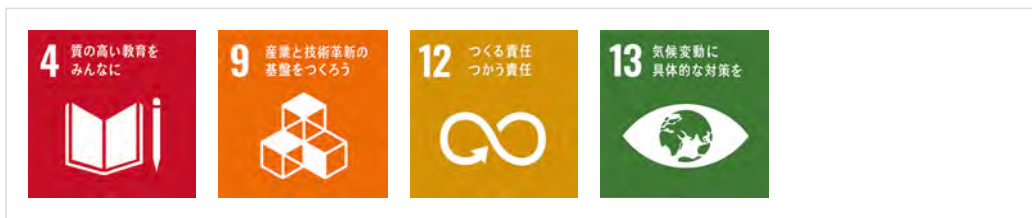


回収場所の様子

※SDGs IDEA FORUMの詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

[SDGs IDEA FORUM](#)

教養科目「社会学C」 & 「地域連携参加型学習」の合同 講演会開催！



2021年11月13日（土）午後1時半から、名古屋市立大学桜山キャンパスさくら講堂で講演会を開催しました。教養科目である「社会学C」と「地域連携参加型学習」という授業の一貫で日本環境設計株式会社取締役会長、岩元美智彦氏をお招きして、ご講演いただきました。

両授業において扱っているESD（Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育）は、持続可能な社会づくりを担う人を育てる教育活動として、2005年よりユネスコを中心に普及・促進されてきました。現在では、SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）を達成するための教育活動のひとつとして捉えられています。SDGsに取り組むにあたり、持続可能な開発を構成する経済開発、環境保全および社会的公正の均衡はときに難しさをともない、不可能とも思われることも少なくありません。

今回お話してくださった岩元さんはこうした状況に「あそび心」をもって取り組まれてきました。映画「Back to the Future」に出てくる「ごみで走るデロリアン」からの着想で、「ごみを資源に」する技術と仕組みを開発しました。誰もが参加できる機会をつかって、生活者である一人ひとりが「ごみを資源に」する習慣を身につけること、それを文化にしていこうと試みられています。

岩元さんのお話の後で、岩元さんを囲んで座談会形式で受講生からの質問をもとに、持続可能な社会づくりに関わるこのワクワク感を共有する時間を持ちました。気候変動に関する諸問題によって、未来に希望を見出せず、「気候不安症」をいだく若者も少なくありません。岩元さんの話からは、そうした不安を払拭するような確かさとともに、あそび心をもって取り組むゆかしさを感じることができました。

【担当教員】

- ・「社会学C」：安藤理恵（高等教育院 名古屋市教育委員会連携推進特任教授）
- ・「地域連携参加型学習」：安藤理恵 & 曾我幸代（人間文化研究科准教授）

【出席した学生からのコメント】

- ・映画からの着想で世界を変える技術を生み出せること、その実行力に感動した。
- ・行動することを諦めない強さを持っていて、とにかくカッコいい。自分も見習いたい。
- ・岩元さんのことをもっと知りたくなっただけでなく、積極的に知識を増やしたい、学びたいと純粋に思った。これからの大学時代を有意義に過ごしたい。自分にも何かできるはず。
- ・自分事にするこの大切さを実感した。「正しい」を「楽しい」にしていけば、世界が変わる。
- ・「世界はまだ捨てたものではないのだ」と考えを改めた。希望を見いだせた。
- ・多くの今はまだ無関心な人に、ぜひ聞いて欲しい。自分は変わったと思う。聞いたらみんなリサイクルしたくなるだろう。



Youth Enterprise 2021トレードフェアで本学経済学部 の学生チームが入賞！



活動の概要	Youth Enterprise 2021トレードフェアが2021年11月21日に開催されました。トレードフェアは、国際化・情報化時代に、よりよい社会の実現に向けてアントレプレナーシップ（起業家的行動能力）を発揮できる若者の育成を目的に、2001年より実施しているものです。 今回、本学からは経済学部の鶴飼宏成ゼミの3チームが参加し、全3チームが入賞を果たしました。3チームとも、自分たちのアイデアを実現するために自ら協力企業を見つけ、試行錯誤を重ねた結果、高い評価を受けました。
活動の時期	2021年11月
関連URL	Youth Enterprise 2021トレードフェア

本学からの受賞チーム一覧

●京都市知事賞(社会貢献度が最も高かったチーム)

「すてる責任」をひと手間で

チーム名：スマイクル

<企画概要>

「すてる責任」を果たすために、『油吸ってポイ』という商品を販売します。液体ごみを排水溝へ流す際に、最も悪影響であると言われる”油分”を、ひと手間で取り除く商品を開発しました。専門的な知識を持っている様々な企業様と連絡を取らせていただき、SDGsの達成に力を入れている企業様などからの大きなご協力を承りながら活動してきました。多数の実験や、アンケートの実施、残り汁の数値研究等を行い、商品のブラッシュアップを行いました。今後もより「すてる責任」を果たす効果の高い商品を開発できるように精進して参ります。汚れた液体を排水溝に流すことは液体ごみを捨てていることと同じであるという認識が多くの人に広まり、正しい捨て方で処分することが当たり前になる社会を目指しています。また、商品開発のみならず、広報としてSNSに挑戦しています。液体ごみを正しく捨てることを広める活動自体がとても珍しいため、有効活用していきたいと考えています。



<達成に寄与するSDGsのGOAL>

SDG12（つくる責任 つかう責任）

<連携団体>

株式会社飛球商会
株式会社アイ・イー・ジェー
株式会社エステム
スズラン株式会社

●京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチーム）

ホットアイマスク×昼寝枕でストレスフリー！

チーム名：eaSe

<企画概要>

デスクワークをする人の目の疲れをケアするために、EYE MAKURAを販売します。複数の企業にアンケート調査を行った結果、デスクワークにより、目に疲れを感じている人が4割ほどいること、疲れのケアをしていない人が約半数いることが分かりました。目の疲れを放置するとピントが合わない、目がしょぼしょぼするといった目の症状だけでなく、目を動かす筋肉の硬直が全身に伝わり、血行不良による肩こりや頭痛などを引き起こすことがあります。EYE MAKURAはヒーターのある機械部分とクッション性のある枕部分の二層構造になっており、目を温めながら昼寝をする時間を提供します。それにより目の疲れから現れる症状の予防と改善を目指しています。また、企業が社員にストレスケアの機会を設けるなど、企業から個人にケアをするように働きかける流れをつくりたいと考えています。



<達成に寄与するSDGsのGOAL>

SDG3（すべての人に健康と福祉を）

<連携団体>

株式会社アピックスインターナショナル

- 異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチーム） 及び
- スチューデント賞（出展している学生・生徒による投票で最も支持されたチーム）

ジェンダーフリーでニコニコライフ

チーム名：NICO NICO

<企画概要>

性のマイノリティに関する理解や、性別に関しての”差別”ではなく”正しい区別”があり、誰もがありのままの自分をさらけ出せる、生きやすい社会の実現を目指します。ジェンダー多様性を尊重する人が増えることを目的としています。

①「違いを受け入れる」という考えを持てるようにする教育のための幼児向け絵本の制作、②より多くの方がジェンダー多様性に関する社会課題を身近に感じ、当事者意識を持って課題解決に取り組むきっかけとなるようなグッズの制作、をしています！

<達成に寄与するSDGsのGOAL>

SDG5（ジェンダー平等を実現しよう）

<連携団体>

株式会社三恵社(絵本チーム)

YOUTH PRIDE JAPAN(絵本チーム)

色-SHIKI-(グッズチーム)

名古屋市立大学生協 滝子キャンパス 山の畑店

丸善 名古屋本店

kanako(グッズチーム)



名古屋市SDGs推進プラットフォームによるプロギングに参加！



活動の概要	<p>本学SDGsセンター長である林教授と事務職員3名が、2021年12月4日（土）に名古屋市SDGs推進プラットフォーム会員限定交流イベントとして開催された「プロギング」に参加しました。</p> <p>「プロギング」とは、ごみ拾いとジョギングを合わせたスウェーデン発の新フィットネスで、走って健康に、拾ってエコに、環境と健康の両方にやさしいSDGsを体現できる新しいスポーツです。</p> <p>本学から参加したチームは、会場となった丸の内エリアを中心に、2km強ほどの距離をジョギングしながらごみ拾いを行いました。</p> <p>今回のプロギング全体では、35kgものゴミを拾いました。</p> <p>本学では今後も、名古屋市と連携し、SDGs達成に向けた活動を積極的に推進していきます。</p>
活動の時期	2021年12月
関連URL	名古屋市SDGs推進プラットフォーム×プロギング



「マイナビ学生の窓口」に本学学生のSDGs活動が登場！



活動の概要	マイナビの学生向け情報メディア「マイナビ学生の窓口」内の特集「大学生と考えるSDGs」で、本学人文社会学部伊藤恭彦教授ゼミの活動（NCU Global Justice project）が紹介されました。
活動の時期	2021年12月
関連URL	価値観の変容から循環型社会の表現を目指して～NCU Global Justice Projectの取り組み～



国費留学優先配置(特別枠)事業「環境健康安全学」プログラム



活動の概要	主に東南アジア諸国の①海外拠点校②大学間交流協定校から選抜された国費留学生に加え、本学の医学研究科、薬学研究科、理学研究科に入学した私費留学生と日本人学生が、「環境健康安全学」に関連した教育と研究を協働して行います。このプログラムでは、通常環境健康安全学に関連する講義科目の受講および研究に従事することに加えて、グローバルレベルでのSDGsに関連した課題について議論し解決策を提示するアクティブラーニングやSDGs関連機関でのインターンシップを行うなどの特色があります。
活動の時期	2020年度～2026年度
関連URL	MEXT scholarship 国際交流・留学 名古屋市立大学 (nagoya-cu.ac.jp)
期待される効果、今後の展望	このプログラムで学んだSGSに関連する知識や経験を元に、プログラム受講生は東南アジア地域等でのSDGs関連のリーダーになることが期待されています。また、このプログラムの履修を通じて培われた人脈は、グローバルレベルでのSDGs課題解決に役立つことも期待されています。
所属	医学研究科、薬学研究科、理学研究科
氏名	高橋智、上島通浩、安井孝周、頭金正博、肥田重明、熊澤慶伯、雨夜徹
専門分野	公衆衛生、環境科学、衛生化学、生態学

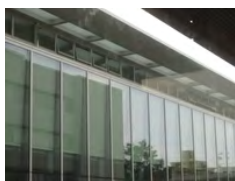


一期生アクティブラーニング発表会

田辺通キャンパスにおける薬学部校舎改築に係る環境対策



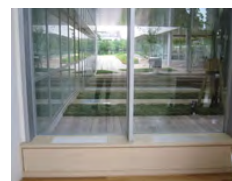
活動の概要	<p>田辺通キャンパスでは、2007年度～2009年度の校舎改築工事以降、以下のような環境対策を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■キャンパスモール(アトリウム)へ自然換気システムと地熱利用のクールチューブを設置し、空調負荷の低減を図っています。 ■キャンパスモール(アトリウム)の窓ガラスに断熱性に優れたペアガラスを採用し、日射負荷の低減対策を実施しています。 ■照明及び誘導灯は高効率型器具を採用し、トイレには照明及び便器・手洗い水栓を自動化・節水型器具を採用しています。 <p>その他、各年度における取組みについては、本学の環境報告書をご覧ください。</p>
活動の時期	2007年度～2009年度以降
関連URL	環境への主な取組み



自然換気システム



室外のクールチューブ(吸込み)



室内のクールチューブ(噴出し)

「卓展2021」をオンライン開催



活動の概要	<p>卓展は、芸術工学部の学生たちが自ら作品展示会を主催することで、創作活動や学びを発信し、学内のクリエイティビティの向上を図ることを目的とした展示会です。</p> <p>例年、北千種キャンパスにて実物を展示していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き2021年9月1日（水）～9月30日（木）までオンライン開催しました。</p> <p>建築からプロダクト、メディアデザインに至るまで、幅広いジャンルのデザイン卓が、ウェブ会場とバーチャル会場で作品を公開しました。また、教員からの作品評価も行われ、参加学生に単位も付与されました。</p> <p>※本件は本学広報誌『創新』Vol.42（2021年12月発行）に掲載されました。</p>
活動の時期	2021年9月
関連URL	本学広報誌『創新』Vol.42

小鷹研究室、作間研究室が名古屋電腦博覧会に出展



活動の概要	<p>2021年8月26日（木）～9月5日（日）、市民ギャラリー矢田にて、県内の芸術系五大学の学生・卒業生によるデジタルメディア作品の展示会「名古屋電腦博覧会」が開催され、小鷹研究室、作間研究室が出展しました。</p> <p>芸術工学研究科修士課程1年の元橋洗佐さんは、体を少し傾けただけでも落下するような感覚に陥るVR装置、同博士課程1年 佐藤優太郎さんは、カニのイラストに手指を乗せて動かすとカニと一体化したような錯覚を覚える作品を展示しました。コロナ禍での開催でしたが、多くの来場者に実際に体験していただき、今後の実験に大いに役立つ意見をいただきました。</p> <p>※本件は本学広報誌『創新』Vol.42（2021年12月発行）に掲載されました。</p>
活動の時期	2021年8月～9月
関連URL	本学広報誌『創新』Vol.42

本学学生が制作したSDGs関連動画が海外の映画祭で入選



活動の概要	<p>本学芸術工学部の栗原研究室の学生らが制作したSDGsに関連する動画が、海外の映画祭で高い評価を受けました。</p> <p>■South America Awards (STUDENT FILM COMPETITION) 【作品名】「SDGs MAN！」 ※学生映画部門で「最優秀脚本賞」「最優秀編集賞」を受賞</p> <p>■Los Angeles Theatrical release competition & awards finalist 【作品名】「女の子ごっこ (Girl's play)」</p>
活動の時期	2022年2月
関連URL	栗原研究室WEBサイト



SDGs IDEA コンテストを開催



活動の概要	<p>本学では、名古屋市と連携して、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2021」を実施しています。</p> <p>総数38件の応募アイデアのうち、厳正な書類選考を通過した優秀8チームが参加する「SDGs IDEA コンテスト」が2022年2月26日に本学さくら講堂で開催されました。</p> <p>当日は、参加した8チームによるプレゼンテーションが行われた他、本学SDGセンター副センター長でエコチル調査愛知ユニットセンター副センター長の榎原准教授（医学研究科）による講演等が行われました。</p>
活動の時期	2022年2月
関連URL	SDGs IDEA FORUM 2021



アイデア商品の展示即売会「ユースエンタプライズ・トレードフェア」に参加しました



活動の概要	<p>起業教育の実践発表会として2021年11月21日にオンラインで開催したユースエンタプライズ・トレードフェアの参加者が、2022年3月12日、京都市中京区のQUESTIONビルに集まって、展示販売会を開催しました。本学からは、経済学部3年と4年の学生で組織した「スマイクル」「eaSe」「NICO NICO」の3チームが参加し、各チームとも企業などとコラボして開発したユニークな商品の販売プロモーションを行い、成果を上げました。</p> <ul style="list-style-type: none">●スマイクル：『油吸ってポイ』（「すてる責任」をひと手間で）●eaSe：『EYE MAKURA』（オフィス用品・ほんの一眠り、頑張るあなたに本当の休息を）●NICO NICO：『あおいくんのかみかざり』（オリジナル絵本）、『（自由の薔薇をあしらった）Pullover Sweatshirt』（性の多様性を考える by NICO NICO） <p>※本件は本学広報誌『『創新』 Vol.44（2022年6月発行）に掲載されました。</p>
活動の時期	2022年3月
関連URL	本学広報誌『『創新』 Vol.44